

地方独立行政法人福岡市立病院機構
令和7年度第4回理事会 議事録（要旨）

□ 日 時：令和7年8月5日（火）10:50～11:30

□ 場 所：市民病院 講堂

□ 出席者：堀内理事長（議長）、楠原副理事長、瓜生理事、神坂理事、平田理事、
柳澤監事、近藤監事 [欠席：石橋理事]

□ 議 事

【議案審議】

**1 議案第4号 診療科目の変更及び地方独立行政法人福岡市立病院機構組織規程の
一部改正について**

＜概要＞

福岡市民病院の診療科目の変更について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

＜主な意見等＞

- いづごろから、診療科目と診療内容が一致していない状態になっていたのか。他にも診療科目名の見直しをして、患者様にとってもより一層分かりやすくなると思われる診療科目はあるのか。
- 肝臓外科に関しては、手術の術式が進歩して、昔は肝臓外科のみで良かったのが、膵臓なども含めて手術するようになってきていることが背景にあると考えている。このような実態はここ1、2年ぐらいのことではないかと思っている。
- 昔は、内科と外科と言われていた科目を臓器別に進めるような動きが平成26、27年から始まって、その時に外科が消化器外科、肝臓外科に分れたところで、消化器外科に関しては、より幅広く消化管外科と2年前に整理した。今回、肝臓外科に関しては、肝臓、膵臓の外科に関しては手術も対応しているところで、今回、診療科目の変更を行うようにしている。一方、内科については、消化管内科、肝臓内科に分かれていて、肝臓内科に関しては、現時点では、まだ膵臓に関して対応ができないところもあり他院を紹介しているケースもあるため、今回は外科のみを変更することになっている。その他で直近で機能別な観点から診療関係や標榜関係を見直したケースはないが、随時情勢の変化等によって見直しをしていきたい。
- 患者様にとって分かりやすい科目にさせていただけるとありがたいので、今後ともよろしくお願いする。
- こども病院については、現時点で診療内容と診療科名との大きな隔たりはないと考えている。
- 現在は、専門化が進んでいるので強みを特化して出していくことはいいことだと思う。そして、全国的にも消化器外科医は減少して、なり手が減っているので消化器外科医の育成なども考えていただくといいと思う。また、実態として1、2年とのことであるが、特化するからにはそれに伴うオペの件数や成果などの実績も見える化するとなおいいと思う。（神坂理事）
- 市民の方々にも見やすいように診療科を標榜し、各診療科の成績を発表していくことは今後も続けてまいりたい。

2 議案第5号 職員の賞罰について

＜概要＞

非違行為を行った職員について、懲戒解雇の処分を行うことを決定した。